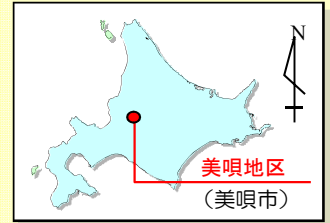


国営緊急農地再編整備事業

びばい 美唄地区



現 状

本地区は、北海道の石狩平野のほぼ中央に位置し、石狩川の左岸に開けた水田地帯であり、水稻及び転作作物の小麦・大豆等の土地利用型作物を主体にたまねぎ等の野菜類を含めた稲作複合経営が進められている農業地帯である。

地区内では高齢化による農家数の減少に伴い個別経営の規模拡大が進む一方で農地の分散化が進んでいる。また、ほ場区画は狭小で、かつ、泥炭土壌に起因する泥濘（ぬかるみ）から機械化作業の効率を妨げているため、今後、更に農家数減少が見込まれる中で耕作放棄地発生が増加が危惧される状況となっている。

さらに、ほ場が排水不良のため、小麦・大豆などの収量や品質も不安定な状況にある。



小区画なほ場



泥炭土壌に起因した排水不良なほ場



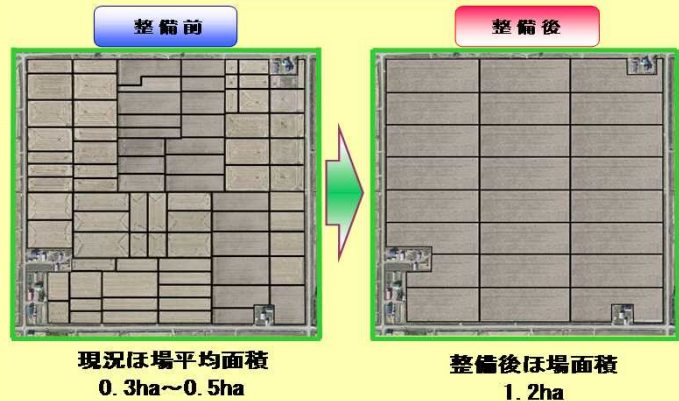
田越しの連続による不安定な水管理

事業目的

本事業は、農家数の減少に伴う耕作放棄地の発生を未然に防止するため、水田を主体とする農地の区画整理を施行し、生産性の高い基盤の形成と土地利用の整序化を通じ、農業の振興を基幹とした地域の活性化に資することを目的とする。

本地区では、ほ場の大区画化等に併せて営農組合による共同作業や水稻直播栽培を核とした先進的営農技術の拡大を推進し、田畑輪換耕作による効率的な水田営農の確立を目指す。

整備イメージ



事業概要

- 事業期間 : 平成25年度～
- 関係市町村 : 美唄市
- 地区面積 : 1,874ha
- 受益面積 : 1,682ha
- 受益戸数 : 133戸
- 主要作物 : 水稻、小麦、大豆、たまねぎ等
- 主な整備内容
 - : 区画整理 1,682ha
 - : ほ場内用水路 101.6km
 - : ほ場内排水路 94.9km
 - : 暗渠排水 1,649ha
 - : 客土 1,649ha



JAびばい: 利雪型カントリーエレベーター【雪蔵工房】
(雪を活用した環境に優しい低温保管で品質保持)

高生産性水田営農の実現による地域農業振興

- 国営緊急農地再編整備事業の実施により整地工、暗渠排水工、ほ場内の用・排水路工等を整備し、ほ場の大区画化・汎用化、併せて換地により農地集積。
- 地元関係機関を中心に農地利用集積、作業受託を促進するとともに、地下水位制御システムを活用した先進的な営農技術の導入により地域営農を構築。
- 事業実施と地域営農の構築により、水稻、小麦、大豆等の品質・収量の向上、営農の効率化を図り、高生産性水田営農を確立するとともに耕作放棄地の発生を防止。
- 労働時間の短縮に伴う余剰労力の活用により、地域ブランドづくりや都市農村交流を促進し、地域農業を6次産業化。

国営緊急農地再編整備事業の実施

- ◇ 整地工(大区画化)
- ◇ 暗渠排水工
- ◇ 客土工
- ◇ ほ場内の用・排水路工
- ◇ 地下水位制御システム
- ◇ 農道工
- ◇ 換地

地元関係機関(市、JA等)による地域営農の構築

- ◇ 農地利用集積円滑化事業団体を中心とする農地利用集積
- ◇ 麦作営農組合等による作業受託
- ◇ 先進的な営農技術の導入

ほ場の大区画化や作業受託による
営農機械の大型化・汎用化

地下水位制御システムを活用した
先進的な営農技術の導入による
品質の向上・収量の増加

換地や農地利用集積による
営農の効率化、耕作放棄地の発生防止

先進的な営農技術の例

春播き小麦の初冬まき栽培
秋小麦の大豆間作栽培

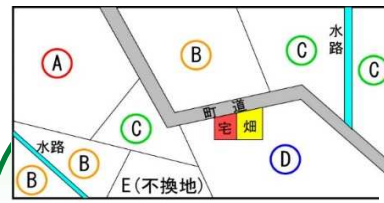


- ・品質・収量の安定
- ・輪作体系の改善による収入安定

水稻の乾田直播栽培



- ・労働時間の短縮、生産コスト削減
- ・経営の大規模化に対応



換地のイメージ

高生産性水田営農の確立による食料自給率の向上

余剰労力の活用
労働時間の短縮

地域ブランドづくり

美唄産こだわりの特産品



米粉を使用した製品
米どころPR「おにぎりプロジェクト」を展開
と地域ブランドの確立
農産物の付加価値向上
美唄地鶏『とりめし』
美唄名物『もつそば』

取組拡大

農業・農村の6次産業化

取組
拡大

都市と農村との交流



JAと大学が連携した
「稲作体験塾(農業体験)」
を通じた食育を推進

◇おにぎりを新たな美唄名物にして
米どころPR「おにぎりプロジェクト」
を展開
→小冊子「美唄おにぎり物語」を
作成し、美唄市の基幹産
業である米作りをPR(美唄青年会議所)